

こんにちは!

とよの **第 200 号**

祝

社協 です。

みんなでつくろう 笑顔あふれるやさしいまち

【編集・発行】
 社会福祉法人
 豊能町社会福祉協議会
 〒563-0103
 大阪府豊能郡豊能町東ときわ台
 1-2-6 保健福祉センター内
 TEL (072) 738-5370
 FAX (072) 738-0524
 HP [https:// toyonosyakyo.jp](https://toyonosyakyo.jp)
 E-Mail tosya1@smile.odn.ne.jp




みやざき じゅんこう
 会長 宮崎 純光

あけましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。平素は本会の事業や活動に対し、ご支援ご協力を頂き誠にありがとうございます。

社会福祉協議会は近年、頻発している異常気象による豪雨や地震などの大規模災害が発生した時に災害ボランティアセンターを設置することになっています。先日、活発な取り組みをされている長岡京市社会福祉協議会を訪ねた際「過去の災害で人命を救う手立てとして一番有効だったのは、近隣の人や友人の救助活動で、日頃からのつながりが防災活動として大切である」と伺いました。まさにいざという時に助け合える地域づくりの必要性を再認識しました。住み慣れたまちで、誰もが安心して暮らせる安らぎのある地域づくり、ふるさとづくりを目標に、私たち社会福祉協議会は、役職員一丸となって取り組んで参ります。住民の皆様の更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おかげさまで
200号を
 迎えました

1986（昭和61）年10月に広報紙を創刊し、今回が200号になります。地域の皆様にご協力いただき、本会の発展とともに、ここまで継続して発行できましたことに深く感謝申し上げます。

これからも皆様からの声とお力添えをいただきながら発行を重ねていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

創刊号



1986（昭和61）年10月1日発行
 年3回発行からのスタート。翌年には
 社会福祉法人として認可されました。

38号



1996（平成8）年6月1日発行
 「こんにちは!とよの社協です。」の名
 称に。事務所はときわ台駅前でした。

190号



2022（令和4）年5月1日発行
 広報紙がカラー印刷に。現在は年6
 回奇数月に皆様へお届けしています。

受賞おめでとうございます

11月29日に開催されました令和5年度大阪府社会福祉大会で、長年豊能町で福祉委員会活動やボランティア活動を続けてこられた団体に表彰が行われました。日頃の活動に感謝し、受賞された団体をご紹介します。

大阪府社会福祉協議会会長表彰
光風台地区福祉委員会

大阪府社会福祉ボランティア知事表彰
とよの絵本の会「とまと」

ご寄付ありがとうございます

豊能北障害者就業・
生活支援センター様
〈現金〉 2,832円

匿名
〈現金〉 10,000円

お預かりしましたご寄付は、地域福祉関連事業に役立たせていただきます。



生活福祉資金貸付事業のご案内



生活福祉資金は、低所得者、障がい者、または高齢者の世帯を対象に、資金の貸し付けと民生委員および関係機関による必要な生活支援を行うことで、安定した生活を送れるようにすることを目的とした貸付制度です。

福祉資金

低所得者、障がい者又は高齢者の世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことで、経済的自立および在宅福祉、社会参加の促進を図ることを目的とした貸付

総合支援資金

失業や減収により生計維持が困難になり、生活再建のための継続的な相談支援を必要とする世帯に対し、資金を貸し付けることで世帯の自立を支援する貸付

教育支援資金

低所得者世帯を対象に、学校教育法に規定する高校、短大、大学、高等専門学校に就学するために必要な経費を無利子でお貸しする貸付

不動産担保型生活資金

住み慣れた我が家で老後を送れるように、所有されているお住まいの土地・建物を担保として生活資金をお貸しする貸付

緊急小口資金

生活困窮世帯が緊急的かつ一時的に生計の維持が困難になった場合に、必要な費用について少額の貸付を行い、生活困窮者自立支援事業等との連携により、当面の課題の解決と世帯の自立の支援を図ることを目的とした貸付

※詳しい対象や条件については右の二次元コードからご確認ください。

※審査結果によっては、貸付できない場合があります。



〈問い合わせ〉 社会福祉協議会 TEL : 072-738-5370 FAX : 072-738-0524

～はたちの献血キャンペーン実施中～
献血にご協力ください

「その一歩が、だれかの一生になる。はたちの献血」
 (令和 6 年度 キャッチフレーズ)

少子高齢化の影響で 10 代～30 代の若年層の献血者数はこの 10 年間で約 31%も減少しています。このまま減少が進んでいくと、血液の安定供給に支障をきたす恐れがあります。今後も患者さんに血液を安定的に届けるためには、今まで以上に若い世代の献血へのご理解とご協力が不可欠です。

献血は身近でできるボランティア。成人として社会への第一歩を踏み出された皆さん、この機会に献血に行ってみませんか。

【町内の献血予定】

1 月 12 日 (金) 保健福祉センター前
 10:30~12:00、13:00~16:30



Q: 献血は何歳からできますか?

A: 200ml 献血は男女とも 16 歳からできます。400ml 献血は、男性は 17 歳から、女性は 18 歳からできます。

Q: 献血は一人何回でもできますか?

A: 献血の種類によって、年間の回数が定められています。400ml 献血では、男性は年間 3 回、女性は 2 回です。

Q: 薬を服用していると献血できませんか?

A: 疾病の種類や薬の種類によって献血をご遠慮いただくことがありますので問診時にご相談ください。右の二次元コードからもご確認いただけます。



**フードドライブへの
ご協力ありがとうございました** 539 kg

常設のフードドライブと、11/1~10 に実施しましたフードドライブ強化週間とを合わせ、食料品・日用品 539kg のご協力をいただきました。皆さまから寄せられました品物は町内で必要とされている方へお届けさせていただきます。この事業にご協力くださいました皆さまに心より感謝申し上げます。

またフードパントリー（食料品の無料配布）も行っておりますので、様々な事情によって生活にお困りの方、食料品・日用品が必要な方は社会福祉協議会までご相談ください。



ボックスにたくさん入れていただきました

今年もやってます!
つながりプランター

コロナ禍でもご近所同士で声をかけ合い、つながりを続けようと開始した『つながりプランター』。今年度で 3 年目となります。10 月に植えた大和真菜が社協前でもすくすくと成長しています。ご近所で育てている方をみられましたらお声かけください。



おすすめのレシピがあれば、ぜひ教えてください

ボランティア情報
れいんぼー
広場

電話訪問事業のご案内

ひとり暮らし高齢者及び高齢世帯に、ボランティアが電話で訪問します。日常のことなどを一緒におしゃべりしませんか。

対象 町内にお住まいの70歳以上のひとり暮らしの方、高齢者のみの世帯（昼間、高齢の方のみになる世帯も可）

内容 月1回程度、ボランティアグループ「べる♪」が電話します

費用 無料



【申し込み・問い合わせ】社会福祉協議会
TEL 072-738-5370



東能勢小学校
車いす体験授業

小学校からの依頼を受け、車いす体験などの福祉教育の授業に協力を行っています。

今回、東能勢小学校4年生の16人を対象に車いす体験を行いました。車いすの取り扱い方や走行時の注意などの基本を説明し、校舎内や校庭を介助する側、される側を交代しながら走行を体験。「車いすからトイレにはどうやって座る?」「水道に手が届くかな?」「災害時にはどうやって移動しよう?」など、普段の生活では気づかないことを当事者の立場になって考える機会となりました。



坂を下る時はバックで、細心の注意を払います

ボランティア連絡会活動紹介

北摂ブロック交流会

豊能町ボランティア連絡会が幹事となり10月25日(水)大阪府市町村ボランティア連絡会『北摂ブロック交流会』が開催されました。

北摂地区の8市町が集まり、新崎国広氏(ふくし教育の実践研究所)による講演『ウィズコロナ社会におけるボランティア活動の意義』を聞き、「ボランティア活動は地域を活性化するとともに、生きがい・やりがいを産むものであることに改めて気づいた」「気持ちを新たにまた頑張りたくなった」などの声が聞かれました。講演後には、各連絡会との情報交換やボランティアグループ「せせらぎ」による落語絵本『はつてんじん(初天神)』を楽しんでいただき、交流を深めることができました。

防災研修

ボランティア連絡会では11月28日(火)堺市総合防災センターへ研修に行き、災害時に必要とされる知識と技術を学びました。阪神・淡路大震災を教訓とした対策方法の学習や「地震体験」「煙避難体験」を行い、防災意識と備えの大切さを実感しました。



上: 防災研修

下: ブロック交流会の様子

